

ソーシャルスキルトレーニングVR



User's
Voice
vol.2



FACE DUO

地域生活でプラスになる継続できる
デイケアを目指して

医療法人社団
東京愛成会高月病院

当院について

自己治癒力を大切にした精神科医療

当院の統合失調症治療は、本人の内側にある回復力を引き出し、身に着けることを理念にしています。そのため、作業遂行能力や人とのコミュニケーション力を養う作業療法、また生活リズムの安定や、集団行動の練習を図り、社会生活スキルを得るためのデイケアといった、退院後に役立つサービスを提供しています。デイケアでは、週に何回、通所するという約束事を守れているかどうかを社会生活を送る能力として評価しています。そのため、患者さんの退院後の生活にプラスとなり、興味を持って継続できるプログラムであることを大事にしています。また、当院では2012年より退院支援プログラムとして、ソーシャルスキルトレーニング (SST) を取り入れており、入院患者の退院意欲向上と社会復帰への動機づけを促す看護援助の1つとして、看護の質の向上に繋げていました。



病院長 長瀬 幸弘 先生

このたび、FACEDUOを導入することとなり、入院からデイケアまでシームレスにトレーニングを行うことで、患者さんの治療ステージに応じて継続した支援が可能になることを期待しています。

導入のきっかけ

参加しやすいSSTを目指して

SSTでは、利用者さんに日常生活の困りごとを聞いてセッションを展開していくのですが、自分の困りごとがその場で出てこないことがあります。また設定した困りごとの状況を全員で共有するのが難しかったり、ロールプレイングだと参加に消極的になる方もいます。FACEDUOは、専門家の監修に基づいたコンテンツから必要なスキルを選ぶことができ、参加者全員で同じ場面を共有できるため、進行がスムーズになるのではと考えました。また、VRは本当の人ではないので、今まで消極的であった利用者さんも取り組みやすくなるのではないかと考えました。



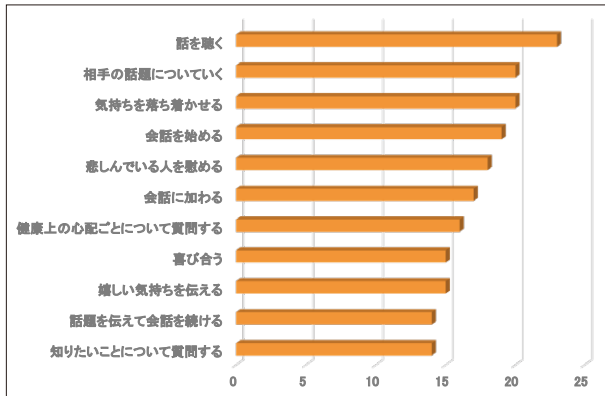
当施設での今後の活用

日常のコミュニケーションに課題意識を持っている利用者が多い結果に

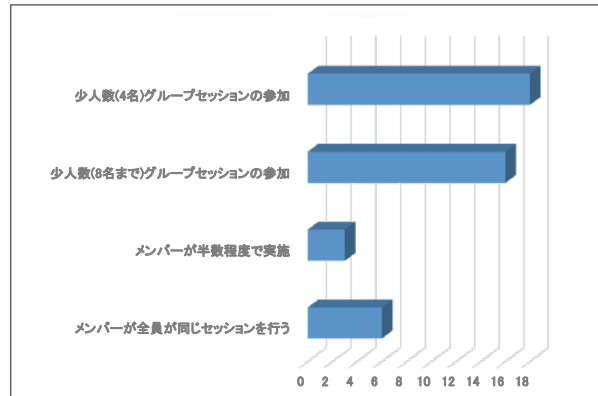
まずは当院のデイケアの利用者さん全員にSST-VRを体験してもらう予定です。デイケアの利用者さんにFACEDUOのコンテンツ一覧から日常の困りごとで練習したいスキルを聞きました。(図1) その結果、多くの利用者さんがコミュニケーションスキルに関心を持っていることがわかりました。また当院では月1回のSSTを実施していましたが、利用者さんからは少人数での実施の希望も多く(図2)、また利用者さんごとに困りごと異なるため、コンテンツごとにセッションをわけて実施することを検討しています。

コンテンツが豊富にあり、支援者ツールも充実しているため、実施回数を徐々に増やしていきたいです。

練習したいスキル (43名より回答) (図1)



参加したいSSTの形式 (43名より回答) (図2)



- FACEDUOには、ソーシャルスキルを学ぶための様々な生活場面を体験できる豊富なコンテンツが用意されています
- コンテンツは患者さんの状況に併せて3段階に分類されています



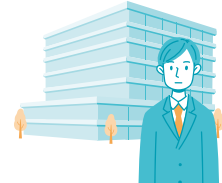
地域生活準備編

- 対象：入院中の患者さん
- 対象施設：精神科病院



日常生活編

- 対象：デイケア施設に通う患者さん
- 対象施設：精神科デイケア



仕事編

- 対象：就労準備中の患者さん
- 対象施設：授産施設・就労移行支援施設、就労継続支援施設

詳しくは公式サイトにて

faceduo

検索

販売 Otsuka

開発・製造 JOLLY GOOD!